

【神経精神科研修】

1. 概要・特徴

当院は総合病院内のリエゾン精神医学的診療のほか、精神科病棟を有し精神科救急も行っており、また外来新患なども多くデイケアも併設しているため、せん妄、自殺企図、急性および慢性の精神病状態、統合失調症、神経症、摂食障害、気分障害、認知症など、多様な精神疾患の診療を経験することができる。

2. 一般目標

1ヶ月の研修のなかで、プライマリ・ケアに必要な頻度の高い精神科疾患を診察するための基本的態度・判断力・技術・知識を習得する。

3. 行動目標

総合病院における精神科診療を経験し、日常診療において遭遇する可能性のある精神科疾患、精神状態を診察したり、専門医への診療依頼ができるようになるための基本的態度・判断力・技術・知識を習得する。

精神疾患、精神障害の特質を理解する。

4. 研修方略

I) 基本的診察法

下記の診察ができ、的確に所見がとれる。

1. 精神医学的な病歴の聴取

患者や家族の話をよく聞き、一般的な既往歴、家族歴のほか生育歴、社会歴、性格、日常生活のパターン、睡眠のパターン、アルコール・薬物の使用歴、家族史的特徴、家族力動などの観点も含めた生活歴を聴取できる。

2. 精神医学的診察

表情や態度の観察、話し方、同伴家族との関係などに留意しつつ、患者の状態の如何に関わらず(興奮したり、会話が進まなかったりなどの状態を呈していても)、患者の状態が表現している意味を冷静に把握し、精神症状を診断できる。

※2回目以降ローテートする場合は、指導医・上級医が研修医の能力レベルを見極め個別に判断し研修を実施する。

5. 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来研修	他科病棟研修	外来研修	他科病棟研修	外来研修
午後	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
夜間	研修医カンファレンス		症例検討会		アルコール集団療法

＊毎週一回精神科オンコール医とともに精神科救急研修を行う。

6. 指導体制

1) 指導医

嶋 田 進 一 郎（第一神経精神科部長）

2) 指導体制の概要

指導医・上級医のもとで、外来研修、病棟研修、他科病棟研修などを行う。

7. 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる。